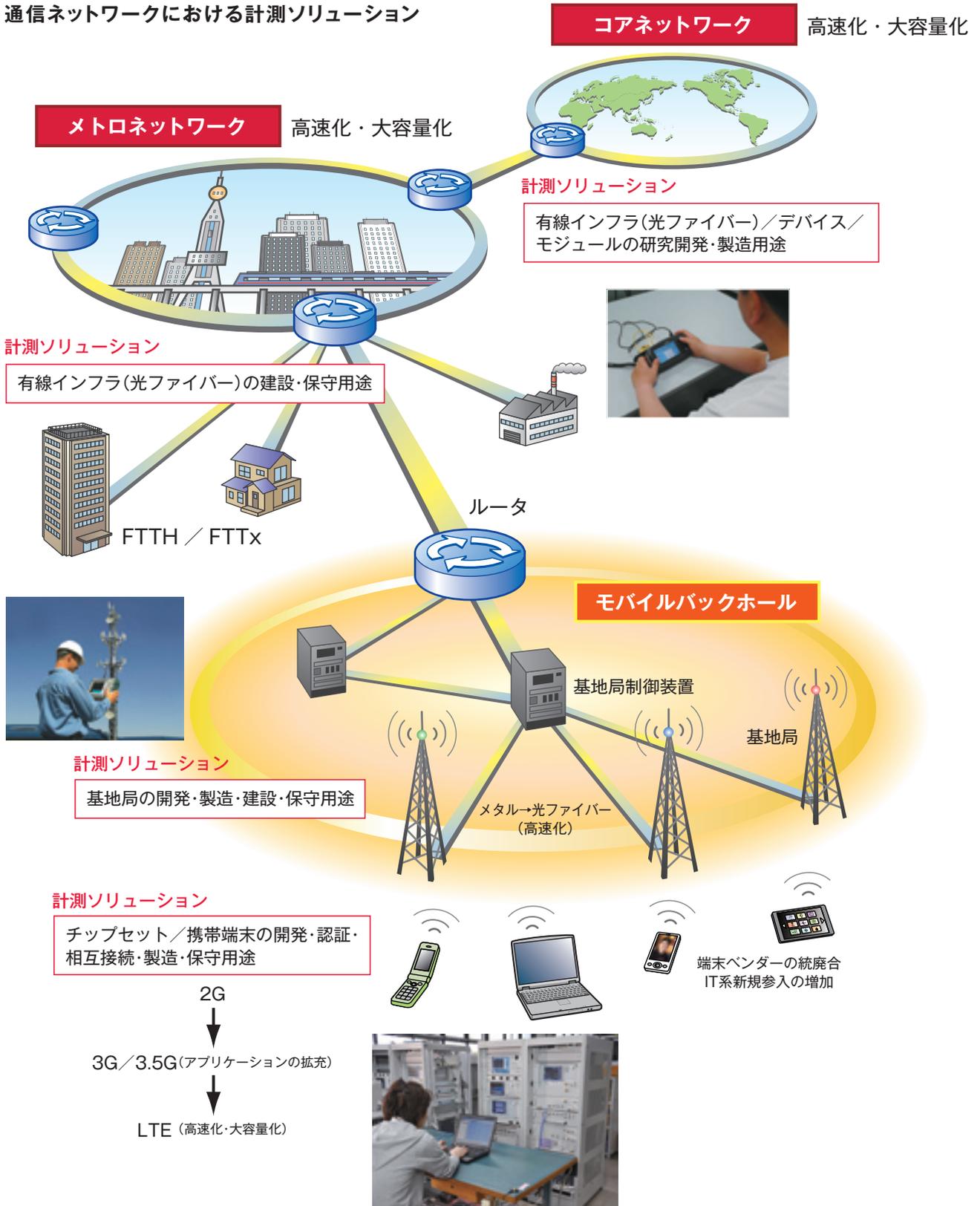


計測事業

次世代携帯通信規格LTEの商用化に向けて、当社の強みである開発用計測器でトップシェアを目指します。また、裾野の広いエレクトロニクス市場を中心に、汎用計測器の収益力向上に挑戦します。

通信ネットワークにおける計測ソリューション



ビジネス領域と2010年3月期(当期)のレビュー

当社の計測事業は、通信市場全般にわたっており、無線用計測器から有線用計測器まで幅広くビジネス展開しています。携帯電話、光ファイバー通信、基幹通信網など、日常生活に欠かせない分野であり、安全・安心で豊かなグローバル社会の発展に貢献しています。

当期は、LTEの基地局や携帯端末の開発需要が立ち上がるとともに、北米市場では無線インフラを中心

に需要の回復の兆しが見られたものの、日本を中心に顧客の設備投資抑制や投資先送りが継続した結果、売上高は482億70百万円(前期比16.0%減)となりました。営業利益は、緊急経営施策による固定費削減に加え、費用圧縮を継続的に実施した結果、22億51百万円(前期は7億91百万円の損失)の営業黒字となりました。

2011年3月期(今期)の事業戦略と業績見通し

今後の継続的な成長が期待できるLTE関連計測器にリソースを集中的に投入し、ビジネス拡大を目指します。LTEは携帯端末の開発・製造のみならず、基地局の製造、建設・保守、さらには、通信容量の不足によるモバイルバックホールの高速化・大容量化などの需要増大が期待できます。当社は無線計測から有線計測までソリューションを保有しており、通信領域全般にわたってビジネス機会があります。今期は、グローバルに展開している端末ベンダーの開発用途や、通信事業者を含めた端末認証・相互接続試験、さらには基地局の製造、建設用途に至るまで、幅広くビジネスの獲得・拡大を目指します。

3G/3.5Gは、スマートフォンなどの製造用途や中国

3G(特にTD-SCDMA)関連のビジネス、および無線・有線通信インフラの整備・拡充用途の計測需要を確実にとらえていきます。

エレクトロニクス市場は、計測セグメントの売上高の3割を占めており、基地局や通信用電子部品の開発・製造用途に使用されています。今期は、2009年末に投入した新製品の拡販、アプリケーションの拡充、顧客サポート、販売チャネルの最適化などに取り組みます。

今期の当事業の売上高は、515億円(当期実績の6.7%増)を計画しています。営業利益は、緊急施策の解除に伴う費用の増加があるものの、23億円(当期実績の2.1%増)を計画しています。

計測事業の地域別売上高(内側) およびサブセグメント別売上高(外側)

